

# 新型コロナウイルス感染拡大予防策について

## 1 はじめに

令和2年6月2日付け、（公財）日本ソフトテニス連盟作成の「ソフトテニス大会等の再開に向けた感染拡大予防ガイドラインについて」を受けて、当連盟（地区協会、シニア、レディースを含む。）が主催する大会についても開催へ向けて、上記ガイドライン、熊本県や熊本県教育庁の方針に従うことが大前提であり、まずは、その方針を確認し、大会会場の施設管理者と十分調整の上、開催に向けた準備を進めることとなります。

本感染拡大予防策は、「上記のガイドライン等を補足するもの」として、大会等再開の際の参考としていただきますようお願いいたします。

大会の規模、種別、会場使用形態等により、すべて同じ形式での運営等はできませんが、それぞれ、創意工夫しながら、上記ガイドラインや本感染拡大予防策に掲げる事項により感染拡大予防に努めていただきますようお願いいたします。

## 2 大会開催に向けての感染拡大予防策補足（ガイドラインと重複する事項あり）

### （1）主催者・運営側

- ① 熊本県、会場所在地市町村の感染拡大予防策等（自粛要請はないかを含む。）を確認する。
- ② 会場施設管理者と会場使用、感染拡大予防策について十分に協議する。  
※施設（トイレ、休憩所、本部室等）、備品（審判台等）、消耗品（消毒剤等）の設置の有無主催者側で用意する消耗品等を検討、調整する。
- ③ 消耗品等の準備（消毒液、ペーパータオル、マスクその他感染予防に必要と思われるもの）
- ④ 消毒剤は受付、コート入口等複数必要。なお、コートベンチ等の消毒にあたっては、直射日光のあたるコート内に消毒剤を長時間設置するのは好ましくないため、各参加チーム（学校）に持参してもらう等も含め検討する。マスクは、基本的に参加者等に持参してもらうが、持参しなかった参加者等のために用意する。
- ⑤ 高校、中学、ジュニアの大会参加に際しては、事前に保護者の同意をとる。
- ⑥ 可能な限り、応援者の入場は控えるようアナウンスする。
- ⑦ 万が一感染が発生した時に備え、個人情報の取扱いには十分に注意しながら、参加申込書については、少なくとも1月以上保存しておく。

### （2）参加者（監督等を含む。）

- ① 大会参加者は、すべての県連主催大会において、大会受付時に参加者エントリーシートを提出する。（P14）
- ② 高校、中学、ジュニアの大会参加については、事前に保護者の同意を得る。
- ③ 審判用の鉛筆（シャープペンシル）は、可能な限り各自持参する。
- ④ 会場までの運行（送迎）については、できる限り密にならないよう分散して行う。

### 3 大会実施時の感染拡大予防策補足（ガイドラインと重複する事項あり）

#### （1）主催者・運営側

- ① 消毒剤の設置（本部、受付、コート入口等）
- ② 感染拡大予防対策（試合中以外のマスク着用、こまめな手洗い、アルコールによる手指の消毒、大声を出したり密集して応援等しないこと等）のアナウンス、掲示  
※熱中症予防のため、マスクをはずす場合は、屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）を確保することも併せてアナウンス、掲示すること
- ③ 受付の工夫（参加料の事前納入、組合せ表等の配布はセルフで行わせる、試合勝者の採点表の提出場所など）
- ④ 開会式等は一人一人の距離をとって行う、または行わない。
- ⑤ 審判台、コートベンチのこまめな消毒（審判・監督等へ依頼）

#### （2）参加者（監督等を含む。）

- ① 試合会場では、試合中を除きマスクを着用する。熱中症予防のため、マスクをはずすとき、と十分な距離（少なくとも2m以上）を確保する。
- ② 昼食、飲み物等は各自で用意し（一括注文等による弁当の配布等は避ける。飲み回し等をしない。）、弁当殻等は各自持ち帰る。
- ③ マッチの開始時、終了時のあいさつは距離（できるだけ2m以上）をとって行う。
- ④ マッチ中、大声を出さないこと、また、ペア同士でのハイタッチ、握手は控える。
- ⑤ マッチ終了後、相手選手との握手は行わないこと。
- ⑥ 審判を行う際は、できる限り、持参した筆記用具を使用する。
- ⑦ マッチの開始前、終了後は審判も含め、各自、手洗い、消毒等を行う。
- ⑧ 審判、監督は当該マッチの終了後、自己が使用した審判台、コートベンチを消毒する。  
※運営側の指示等により、必要に応じて行う。
- ⑨ 参加者休憩場所等でも三つの密（密閉、密集、密接）を避ける。

#### （3）応援者等

応援は、できるだけ距離（2メートル）をとり、大声を出さない。※応援は、同一チームの選手が出場している試合を想定している。保護者等については、会場への入場を控える。